

不登校児童生徒を支援する 民間施設に関するガイドライン



兵庫県マスコット
はばタン

令和2年3月
(令和4年1月更新)
兵庫県教育委員会

はじめに

令和元年10月17日に文部科学省より公表された、「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、全国の国公立小・中学校における不登校児童生徒数は、164,528人と、平成25年度調査から6年連続で増加しています。

本県においても、同調査において、公立小・中学校の不登校児童生徒数は7,609人と、前年の6,469人より1,140人の増加という状況になっています。

県内の各学校においては、不登校児童生徒への支援のために、学校内に別室を用意したり、県立但馬やまびこの郷や市町立の教育支援センター（適応指導教室）を紹介したりして、居場所の確保に努めています。また、これらの施設に通うとともに、フリースクール等の民間施設を居場所としている子ども達もいることから、県教育委員会では教育機会確保法（平成29年2月施行）が求めている民間施設との連携が必要との認識のもと、これを円滑に進めるため、今年度は民間施設との意見交換会を開催するとともに、民間施設に関するガイドラインを策定することにしました。

令和元年10月25日に文部科学省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」が出され、不登校児童生徒への支援について、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要があること、それに伴い、民間施設での支援を指導要録上の出席扱いと判断する際の要件について、新たな考え方が示されました。

本冊子では、「民間施設に関するガイドライン」の中で、民間施設における支援について、校長が指導要録上の出席扱いを判断する際に留意すべき点を示すとともに、不登校支援にあたっての学校や教育委員会の取組、出席扱いを判断するための望ましい流れ等を示しています。そして、参考資料として、不登校児童生徒を対象とした県や市町の施設、民間施設の一部を紹介しています。

不登校児童生徒の支援にあたっては、個々の児童生徒の状況に応じて、社会的自立に向けた適切な居場所を提供することが重要です。本冊子を活用することで、市町教育委員会や学校と民間施設との連携が一層図られ、不登校児童生徒への支援の充実が図られることを願っています。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、御意見をいただいた民間施設の方々をはじめ関係の皆さまに深く感謝申し上げます。

令和2年3月

兵庫県教育委員会

[目次]

民間施設に関するガイドライン	1
1 ガイドライン活用にあたってのQ & A	3
2 不登校支援にあたっての学校と教育委員会の取組	4
3 不登校児童生徒の居場所について	5
4 民間施設活用における指導要録上の「出席扱い」について	6
5 市町における民間施設についての基本方針〔姫路市〕例	7
6 民間施設に関する施設視察〔様式〕例	9

[参考資料]

① 不登校児童生徒を対象とした県立施設の紹介	11
② 兵庫県における教育支援センター一覧	13
③ 教育支援センターについて	15
④ 兵庫県内フリースクール等施設紹介	16
⑤ 国の主な通知とポイント	裏表紙

本ガイドラインに掲載した民間施設について

本ガイドラインで紹介している民間施設については、下の5要件を満たす施設であり、県内にある全ての施設を紹介したものではありません。また、民間施設を活用した際の「出席扱い」については、児童生徒の状況に応じた個別の判断が必要です。

【掲載した施設】

- ① 令和3年9月までに「出席扱い」が認められた実績のある施設
- ② 義務教育段階の児童生徒を受け入れている施設
- ③ 通常、学校のある時間帯に受け入れを行っている施設
- ④ 学習支援、体験活動、仲間づくり等、複数の活動を実施している施設
- ⑤ 民間施設から「子どもたちの活動・成長」等の紹介があった施設

なお、民間施設の紹介については、今後も随時更新しますので、兵庫県教育委員会義務教育課のホームページにて、



民間施設に関するガイドライン

兵庫県教育委員会

I 策定の趣旨

平成 29 年 2 月に施行された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（教育機会確保法）では、その基本理念として、不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援を行うことが示された。

不登校児童生徒の中には、フリースクール等の民間施設で支援を受けている者もあり、その社会的自立のためには、学校や市町組合教育委員会と民間施設との連携を図ることが重要である。そこで、今回、学校や市町組合教育委員会が、民間施設に通所する不登校児童生徒の「出席扱い」について判断する際に留意すべき点を目安として示したガイドラインを策定する。

II 活用にあたって

このガイドラインは、個々の民間施設についてその適否を評価するという趣旨のものではない。したがって、学校や市町組合教育委員会においては、民間施設に通所する不登校児童生徒の「出席扱い」について判断する際に、このガイドラインに掲げた事項を参考としながら、地域の実態等を考慮し、各民間施設への訪問等を通して、児童生徒の安全・安心が確保されていることや、活動内容等を十分把握し、施設における支援が、児童生徒の社会的自立につながっているのかを、総合的に判断することが求められる。このことから、実際の運用にあたっては、各市町組合教育委員会においてもガイドラインや基本方針を策定し、各学校との共通理解の下、不登校児童生徒の状況に応じた支援の充実を図ることが求められる。

III 判断するための留意事項

1 実施主体について

- (1) 法人、個人は問わないが、実施者が不登校児童生徒に対する支援等に関し深い理解と知識又は経験を有し、かつ社会的信望を有していること。
- (2) 不登校児童生徒に対する支援を行うことの目的が明確であり、自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指す取組がなされていること。
- (3) 著しく営利本位でなく、入会金、授業料（月額・年額等）等が明確にされ、保護者等に情報提供がなされていること。

2 支援の在り方について

- (1) 児童生徒の人命や人格を尊重した人間味のある温かい支援が行われていること。

- (2) 情緒的混乱、情緒障害及び非行等の態様の不登校など、支援の対象となる児童生徒が当該施設の支援体制に応じて明確にされていること。また、受入れに当たっては面接を行うなどして、当該児童生徒の状況の把握が適切に行われていること。
- (3) 指導内容・方法、相談手法及び支援の体制があらかじめ明示されており、かつ児童生徒の状況に応じた適切な内容の支援が行われていること。
- (4) 児童生徒の学習支援や進路の状況等につき、保護者等に情報提供がなされていること。
- (5) 体罰などの不適切な指導や人権侵害行為が行われていないこと。
- (6) 当該児童生徒にとって最善の利益が尊重されること。

3 支援スタッフについて

- (1) 支援スタッフは児童生徒の教育に深い理解を有するとともに、不適応・問題行動の問題等について知識・経験をもち、その指導に熱意を有していること。また、実施者は、支援スタッフの資質向上に努めること。
- (2) 専門的なカウンセリング等の方法を行うにあつては、公認心理師や臨床心理士等の有資格者や心理学や精神医学等、それを行うにふさわしい専門的知識と経験を備えたスタッフが指導にあたっていること。
- (3) 宿泊による活動を行う施設にあつては、生活指導にあたる者を含め、当該施設の活動を行うにふさわしい資質を具えたスタッフが配置されていること。

4 施設・設備について

- (1) 学習や支援等の活動を行うために必要な施設・設備を利用できる状況にあること。
- (2) 利用施設・設備にあつては、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものであること。
- (3) 宿泊による指導を行う施設にあつては、宿舎をはじめ児童生徒が安全で健康的な生活を営むために必要な施設、設備を有していること。

5 学校・教育委員会と施設との関係について

- (1) 児童生徒のプライバシーにも配慮の上、施設への通所の状況や学習等の活動の様子、支援経過などの必要な事項について、学校へ定期的に情報提供が行われること。
- (2) 学校と施設が相互に、児童生徒やその家庭を支援するために必要な情報等を交換するなど、学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。

6 家庭との関係について

- (1) 施設での支援経過を保護者に定期的に連絡するなど、家庭との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。
- (2) 宿泊による指導を行う施設にあつては、たとえ当該施設の指導方針がいかなるものであっても、保護者の側に対し面会や退所の自由が確保されていること。

1 ガイドライン活用にあたってのQ & A

Q 各市町においても、ガイドライン（基本方針）を策定しなければならないのですか？

A 本ガイドラインをもとに、各地域の状況に応じた、各市町のガイドライン（基本方針）を策定し、出席扱いを判断する具体的な手続きについて各学校と共通理解を図るとともに、学校と教育委員会がやりとりする文書の様式、民間施設から毎月提出を求める文書の様式等を定めることが求められます。本ガイドライン P. 7～8 の姫路市教育委員会が策定したガイドラインを参考に、検討を進めていただきたいと思います。

Q すでに出席扱いを認められた施設に、改めて視察に行く必要はないのではないのでしょうか？

A 令和元年 10 月 25 日の文部科学省通知にも出席扱いの要件については、「民間施設における相談・指導が個々の児童生徒にとって適切であるかどうかについては、校長が、設置者である教育委員会と十分な連携をとって判断するものとする」と記されているように、個に応じて適切かどうかの判断が必要となります。民間施設では、随時児童生徒の受入をしており、受入人数や施設の雰囲気は変化するものと考えられます。その点からも、保護者から学校への申し出、協議の後に、改めて施設が当該児童生徒にとって適切であるかどうかを判断するために、視察は必要だと考えます。

Q 出席と出席扱いの違いは何ですか？

A 教育支援センターや民間施設における支援が出席扱いになることによって、通所のための通学定期券が購入できることから、当該家庭の経済的な支援や、本人に適した施設を広範囲から選択できることにつながります。出席扱いとなった日数については、指導要録の出席日数の内数として、出席扱いとした日数及び児童生徒が通所又は入所した学校外の施設名を記入する必要があります。

一方で、その出席扱いと認められた児童生徒が、学校に登校していない場合、出席簿の上では欠席となり、30 日以上欠席した場合は、毎年実施している問題行動調査で不登校児童生徒として計上する必要があります。（病気、その他を除く）

Q 民間施設における学習は、どのように評価に反映したらいいですか？

A 学校外の公的機関や民間施設における学習の計画や内容がその学校の教育課程に照らし適切と判断される場合には、当該学習の評価を適切に行い指導要録に記入したり、通知表その他の方法により、児童生徒や保護者等に伝えたりすることは、児童生徒の学習意欲に応え、自立を支援する上で意義が大きいものです。評価の指導要録への記載については、必ずしもすべての教科・観点について観点別学習状況及び評定を記載することを求めています。学習状況を文章記述するなど、適切な記載に努めることが求められています。

Q 不登校児童生徒への支援の目標が学校復帰ではなく、社会的自立を目指すこととなりましたが、学校として学校復帰を求めているとはいけないのですか？

A 不登校児童生徒の状況や保護者の思いに寄り添いながら、学校・学校外の施設が連携し、社会的自立に向けた支援に取り組むことが重要です。一方、各学校では社会的活動や自然体験活動、教科学習、スポーツ活動や芸術活動、集団活動を行うことなどを通じて、児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培っています。多様な選択肢の一つとして、不登校児童生徒自らが学校復帰を選択することは、将来的な社会的自立の近道と言えますが、児童生徒や保護者の思いや状況を十分に把握した上での対応が必要です。

2 不登校支援にあたっての学校と教育委員会の取組

学校の主な取組

○不登校児童生徒に対する効果的な支援の充実

- ・不登校に対する学校の基本姿勢として、校長のリーダーシップの下、教員だけでなく、様々な専門スタッフと連携協力し、組織的な支援体制を整える。各学校において中心のコーディネーター的な役割を果たす教員を明確に位置づける。
- ・不登校の予兆への対応を含めた初期段階からの組織的・計画的な支援をする。
- ・不登校の要因や背景を的確に把握するため、個別の「児童生徒理解・支援シート」を作成する。
- ・「児童生徒理解・支援シート」の作成にあたっては、学級担任の視点のみならず、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー等によるアセスメント（見立て）も参考にする。
- ・作成された支援計画については、学校、保護者及び関係機関等で支援計画を共有する。
- ・プライバシーに配慮しつつ、定期的に家庭訪問を実施し、児童生徒の理解に努める。
- ・不登校児童生徒の才能や能力に応じて、それぞれの可能性を伸ばせるよう、本ガイドラインを活用した様々な関係機関等を紹介する。
- ・教育支援センター（適応指導教室）や民間施設等の学校外の施設において指導を受けている場合は、当該児童生徒が在籍する学校が、学習の状況等を把握し、その学校の教育課程に照らし適切と判断した時は、当該学習の評価を適切に行い、指導要録に記入したり、評価の結果を通知表その他の方法により、児童生徒や保護者、当該施設に積極的に伝えたりする。
- ・不登校児童生徒が、当該校へ登校してきた場合は、温かい雰囲気迎え入れられるよう配慮するとともに、保健室、相談室及び学校図書館等を活用しつつ、徐々に学校生活への適応を図っていくよう、指導上の工夫を行う。
- ・児童生徒の立場に立った柔軟な学級替えや転校等の対応をする。

○中学校等卒業後の支援

- ・卒業後も当該生徒や保護者から相談があった場合、進学や職業訓練の機会等について相談できる窓口を紹介するなど、社会とのつながりを絶やさないための適切な対応をする。

教育委員会の主な取組

○不登校や長期欠席の早期把握と取組

- ・学校等の不登校への取組に関する意識を更に高めるとともに、学校が家庭や関係機関等と効果的な連携を図り、不登校児童生徒に対する早期の支援を図るための体制の確立を支援する。

○学校等の取組を支援するための教育条件等の整備

- ・不登校への適切な対応に資する、初任者研修をはじめとする教職経験に応じた研修、生徒指導・教育相談といった専門的な研修、管理職や生徒指導担当教員等を対象とする研修などの体系化とプログラムの一層の充実を図る。
- ・カウンセリングなどの専門的な能力の育成を図るとともに、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー等の専門性と連動した学校教育への更なる理解を図るといった観点からの研修を実施する。
- ・「心の居場所」としての学校づくりを進めるために、児童生徒一人一人に対してきめ細やかな指導が可能となるよう、適切な教員配置と効果的に活用されているか等を検証する。
- ・養護教諭の複数配置や研修機会の充実、保健室、相談室及び学校図書館等の環境を整備する。
- ・9年間を見通した生徒指導の充実等により、学校段階間の接続の改善、工夫を行う。

○教育支援センター（適応指導教室）の整備充実及び活用、教育支援センターを中核とした支援ネットワークの整備

○民間施設との連携協力のための協議の場の設定・情報収集・情報提供等

文部科学省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」より

3 不登校児童生徒の居場所について

学校（教室には入れない場合）

※該当児童生徒の状況に応じた時間帯、場所による支援が必要

- ・別室や保健室への登校、学習支援
- ・放課後登校、学習支援 など



県立施設・市町立の教育支援センター（適応指導教室）

※学校は通級につなげるだけでなく、その後も継続的な各施設との連携が必要

- ・各施設と学校との連携（学習教材の提供、情報の共有）
- ・各施設における行事への学校教職員の参加 など

民間施設

※市町におけるガイドライン（基本方針）に基づく支援が必要【参照 P. 7～8】

- ・該当児童生徒の状況に応じた施設の保護者への紹介
- ・各施設と学校との連携（学習教材の提供、情報の共有） など

在 宅

※市町における出席扱いの判断に関する基準の策定が必要【参照 P. 5～6】

- ・ICT等による学習支援
- ・家庭訪問による状況把握と社会的自立に向けた働きかけ など

子どもたちへの支援に向けて・・・

不登校児童生徒の居場所については、背景や段階、状況によって様々な選択肢があります。学校として常に居場所での不登校児童生徒の状況を把握し、家庭と連携することが必要となります。また、中には複数の居場所を活用している不登校児童生徒もいます。学校が中心となって、それらの居場所における取組の情報を、家庭や居場所と共有することが重要です。

4 民間施設活用における指導要録上の「出席扱い」について

指導要録上「出席扱い」が認められる不登校児童生徒を支援する民間施設の要件

- ・ 我が国の義務教育制度を前提とした支援を行う施設
- ・ 不登校児童生徒の社会的な自立を目指す活動を行う施設
- ・ 不登校児童生徒が自ら登校を希望した際に、円滑な学校復帰が可能な施設

指導要録上「出席扱い」の判断をするための望ましい流れ

- 
- ① 不登校児童生徒及び保護者からの申し出
 - ② 当該校職員と不登校児童生徒の家庭との十分な協議、児童生徒の状況に応じた民間施設の検討
 - ③ 不登校児童生徒及び保護者による民間施設見学・体験入学
 - ④ 当該校（校長）による民間施設訪問
 - ⑤ 当該校内での「出席扱い」に関する協議
 - ⑥ 市町組合教育委員会への報告
 - ⑦ 市町組合教育委員会による民間施設訪問
 - ⑧ 市町組合教育委員会と学校長が協議
 - ⑨ 学校長が「出席扱い」の認定を判断

指導要録上「出席扱い」と判断する者

不登校児童生徒の在籍する学校の校長

「出席扱い」認定後

- ・ 当該校による民間施設との定期的な情報交換（場合によっては施設訪問）
- ・ 当該校と該当児童生徒及び保護者との定期的な連携・協力

【参考】ICTを活用する場合

不登校児童生徒が自宅においてICTを活用した学習活動を行うとき、当該児童生徒の自立を助けるうえで有効・適切と判断し、下記の要件を満たす場合

校長は指導要録上出席扱い、成果を評価に反映することができる

出席扱い等の要件〔概要〕

「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」より

- (1) 保護者と学校の十分な連携・協力関係
- (2) インターネット・遠隔教育システム、郵送、FAXなどを活用した学習活動
- (3) 訪問等による対面指導が行われることを前提
- (4) 学習の理解の程度を踏まえた計画的な学習プログラム
- (5) 校長は、状況について十分に把握する（定期的報告、連絡会の実施等）
- (6) 基本的に、学校外の公的機関、民間施設で相談・指導を受けられない場合
- (7) 当該学習の計画や内容が適切と判断される場合、成果を評価に反映できる

5 市町における民間施設についての基本方針[姫路市]例

不登校児童生徒が相談・指導を受ける民間施設についてのガイドライン

姫路市教育委員会

不登校児童生徒の相談・指導について、様々な理由で総合教育センター適応指導教室等の公的機関への通所又は入所が困難な状況であり、本人や保護者の希望もあり適切と判断される場合には民間施設への通所又は入所を考慮することができる。このガイドラインは、不登校児童生徒が民間施設において相談・指導を受ける際に、学校、教育委員会として留意すべき点を目安として示したものである。

民間施設はその性格、規模、活動内容等が様々であり、民間施設を判断する際の指針をすべて一律的に示すことは困難である。したがって、実際の運用に当たっては、このガイドラインに掲げた事項を参考としながら、地域の実態等に応じ、各施設における活動を十分に把握して総合的に判断することが求められる。

1 実施主体について

法人、個人は問わないが、実施者が不登校児童生徒に対する相談・指導等に関し深い理解と知識又は経験を有し、かつ社会的信望を有していること。

2 事業運営の在り方と透明性の確保について

- (1) 不登校児童生徒に対する相談・指導を行うことを主たる目的としていること。
- (2) 我が国の義務教育制度を前提としつつ、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行っていること。
- (3) 著しく営利本位でなく、入会金、授業料、入寮費等が明示され、学校や保護者等に情報提供が行われていること。

3 相談・指導の在り方について

- (1) 児童生徒の人命や人格を尊重した人間味のある温かい相談や指導が行われていること。
- (2) 情緒的混乱、情緒障害及び非行等の態様の不登校など、相談・指導の対象となる者が当該施設の相談・指導体制に応じて明確にされていること。また、受入れに当たっては面接を行うなどして、当該児童生徒のタイプや状況の把握が適切に行われていること。
- (3) 指導内容・方法、相談手法及び相談・指導の体制があらかじめ明示されており、かつ現に当該児童生徒のタイプや状況に応じた適切な内容の相談や指導が行われていること。
- (4) 児童生徒の学習支援や進路の状況等につき、保護者等に情報提供がなされていること。
- (5) 体罰などの不適切な指導や人権侵害行為が行われていないこと。

4 相談・指導スタッフについて

- (1) 相談・指導スタッフは児童生徒の教育に深い理解を有するとともに、不登校への支援について知識・経験をもち、その指導に熱意を有していること。
- (2) 専門的なカウンセリング等の方法を行うにあっては、心理学や精神医学等、それを行うにふさわしい専門的知識と経験を備えた指導スタッフが指導にあたっていること。
- (3) 宿泊による指導を行う施設にあっては、生活指導にあたる者を含め、当該施設の活動を行うにふさわしい資質を具えたスタッフが配置されていること。

5 施設、設備について

- (1) 各施設にあっては、学習、心理療法、面接等種々の活動を行うために必要な施設、設備を有していること。
- (2) 特に、宿泊による指導を行う施設にあっては、宿舎をはじめ児童生徒が安全で健康的な生活を営むために必要な施設、設備を有していること。

6 学校と施設との関係について

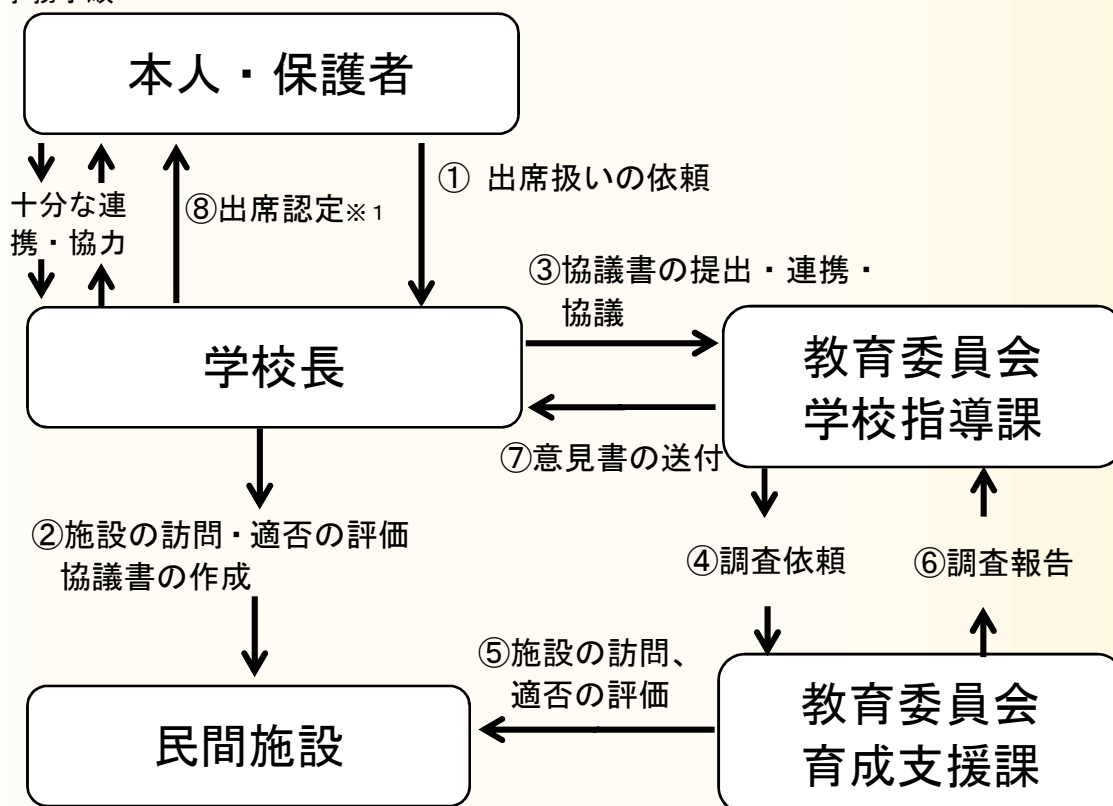
児童生徒のプライバシーにも配慮の上、学校と施設が相互に不登校児童生徒やその家庭を支援するために必要な情報等を交換するなど、学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。

7 家庭と施設との関係について

- (1) 施設での指導経過を保護者に定期的に連絡するなど、家庭との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。
- (2) 特に、宿泊による指導を行う施設にあっては、たとえ当該施設の指導方針がいかなるものであっても、保護者の側に対し面会や退所の自由が確保されていること。

8 指導要録上の出欠の取扱いについて

- (1) 不登校児童生徒が学校外の公的機関や民間施設において相談・指導を受けている場合の指導要録上の出欠の取扱いについては、令和元年10月25日付元文科初第698号「不登校児童生徒への支援の在り方について」（通知）『別記1』によるものとする。
- (2) 事務手順



※1 出席扱いに当たっては、保護者からの申請日以降認められるものとする。

6 民間施設に関する施設視察〔様式〕例

令和 年 月 日

民間施設（フリースクール等）に関する施設視察（報告）

1	訪問日時	令和 年 月 日 : ~
2	訪問者（職名）	
3	施設名	
4	施設代表者名	
5	施設対応者名	
6	施設所在地	〒 TEL FAX
7	施設概要	
	1 開設時期	年 月 開設
	2 在籍児童生徒数	名 (小: 名・中: 名・高: 名)
	3 費用	入学金 円 年間費用 円 (月額 円) その他費用 円
	4 指導者等	名 (男: 名・女: 名) 代表者所有資格 (教員免許・臨床心理士・精神科医等・) その他の指導者 (医師・カウンセラー・保健師・教員免許保有者・)
	5 施設・設備等	学習室 室・ 無 [様子] 面接、相談室 室・ 無 [様子] 体育施設、プレイルーム 無 [様子] 保健室 無 [様子] その他の設備 []

8	入学案内・HPについて		
	1 入学案内があるか	有	・ 無
	2 ホームページを開設しているか（ブログを含む）	有	・ 無
	3 経営方針について明記されているか	有	・ 無
	4 指導内容・方法・相談・指導体制が明記されているか	有	・ 無
	5 必要費用等が明記されているか	有	・ 無
	6 指導者名が明記されているか	有	・ 無
	7 定期的に更新されているか	有	・ 無
9	連携について		
	1 学校との連携方法		
	2 学校との連携頻度		
	3 家庭との連携方法		
	4 家庭との連携頻度		
10	その他		
	1 児童生徒個々の学習指導計画	有	・ 無
	2 児童生徒個々の学習指導や支援に関する記録	有	・ 無
	3 在籍児童生徒で、出席扱いの認定を受けた児童生徒はいるか	有	・ 無
	4 社会的自立に向けたプログラムはあるか	有	・ 無
11	所見		
	施設視察〔様式〕の活用の仕方 ※本ガイドラインや各市町が策定した基本方針に照らし合わせ、民間施設を訪問する際に、学校長及び市町組合教育委員会がどの様な点に注視して施設視察をするかをまとめたものです。 ・ 民間施設の概要は、ホームページや紹介パンフレット等によって、確認することができますが、その情報が正しいものかを判断するには、実際に民間施設へ行き、聞き取り等を行うことが必要です。 【活用例】 ① 校長の視察で、該当の児童生徒の状況に即した支援が行われる民間施設であるかを中心に本様式に記入する。 ② 市町組合教育委員会として、校長の視察にて確認した項目が適正なものか。民間施設として、適切な支援が行われているかを確認し、本様式に記入する。 ③ 出席扱いの判断材料としての記録とする。 ・ 本様式を参考に確認項目を追加するなどして活用願います。		

参考資料

① 不登校児童生徒を対象とした県立施設の紹介

兵庫県内には、不登校児童生徒を対象とした3つの施設（宿泊体験施設）があります。

施設名	所在地	対象児童生徒
兵庫県立但馬やまびこの郷	朝来市	不登校及び不登校傾向の小・中学生
兵庫県立神出学園	神戸市西区	中学校を卒業した23歳未満の男女
兵庫県立山の学校	宍粟市	中学校を卒業した21歳未満の男子

兵庫県立但馬やまびこの郷

所在地	HP
朝来市山東町森字向山 45－101	http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/
電話番号 079－676－4724	FAX 079－676－4721
交通機関	
・自動車ご利用の場合 北近畿豊岡自動車道（山東 IC）から西に約 5 k m 播但連絡道路（朝来 IC）→国道 312 号線→竹田 城下町交差点右折約 4 k m ・電車ご利用の場合（最寄り駅） ＪＲ山陰本線和田山駅、ＪＲ播但線竹田駅 ・バスご利用の場合 神戸から城崎温泉行（又は湯村温泉・浜坂行）の高速バスで和田山駅下車 ※電車、バスご利用の場合、送迎可能ですので、事前に上記まで連絡願います。	
	
○概要	○活動内容
・対象者 兵庫県内に在住する不登校及び 不登校傾向の小・中学生及びそ の保護者 ・定員 35 名程度 （児童生徒・保護者・指導者） ・経費 4 泊 5 日の場合、一人あたり 6,300 円程度 （食費、リネン代、教材費等） ※宿泊費、施設使用料は無料です。	・但馬やまびこの郷での体験活動（4 泊 5 日以内） 調理、製作、スポーツなどの体験を通して、自立 する力、人とかわる力を高めます。（1 日（半 日）の利用や見学・体験もできます） ・地域やまびこ教室 県内各地にスタッフが出かけ、体験活動や保護者 交流会を行います。 ・不登校相談 不登校の小・中学生及びその保護者、教職員の相 談を受け付けています。 ※電話相談は随時受け付けています。 ※但馬やまびこの郷での活動や地域やまびこ教室 を希望される場合は、当所と日程を相談の上、在 籍している学校から申し込んでください。

兵庫県立神出学園

所在地 神戸市西区神出町小束野 30	HP https://www.kande-gakuen.jp
電話番号 078-965-1122	FAX 078-965-1123
交通機関 ・ JR、山陽電鉄明石駅から 神姫バス「三木、小野、社」方面行き ・ 神戸市営地下鉄西神中央駅から 神姫バス「三木」方面行き 「老ノ口」バス停下車。徒歩約 15 分	
○対象者 不登校等によって進路発見が困難な状況にありながらも、自分の生き方や進路等を見つけないという意欲を持ち、体験活動や寮での共同生活ができる人 ○定員 約 80 人 ○在籍期間 原則 2 年以内	○支援内容 豊かな自然の中で仲間やスタッフとふれあい、多彩な体験プログラムと週 3 泊 4 日の寮生活を通じて自分を見つめ、自分の生き方を発見できるよう支援します。また金曜日（月 2 回程度）に実施する「1 日交流体験」では、中学 3 年生以上の不登校・ひきこもり等の状態にある方を対象に、学園の自然・施設を活用し、プログラムを体験してもらいます。

兵庫県立山の学校

所在地 宍粟市山崎町五十波 430-2	HP http://www.seishonen.or.jp/yamanogakkou/
電話番号 0790-62-8088	FAX 0790-62-9733
交通機関 ・ 自動車ご利用の場合 中国自動車道「山崎 IC」から国道 29 号線を約 4 km 北上し、山崎神野郵便局の手前を左折、西へ約 400m ・ バスご利用の場合 神姫バス「山崎」から皆木方面行き、「西五十波」バス停 下車。徒歩約 15 分。	
○対象者 義務教育を修了した人で、寮での共同生活や体験活動ができる人 ○定員 20 人 ○修学期間 1 年間 ※相談は随時受け付けています。	○支援内容 自然の中でのさまざまな体験活動と寮での週 4 泊 5 日の共同生活を通して、よりよい人間関係を育みながら、たくましく生きる力を培い、進路実現に向けて「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援します。また、チェーンソー、小型フォークリフト等 4 つの資格取得により働く意欲を高めます。

② 兵庫県における教育支援センター(適応指導教室)一覧

令和3年9月現在 68施設

市町名	施設の名 称	住 所
神戸市	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」センター	神戸市中央区楠町4-2-3 青少年育成センター
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」ひがし分室	神戸市東灘区青木4-4-1 本庄小学校
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」きた分室	神戸市北区南五葉3-1-1 南五葉小学校
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」ほくしん分室	神戸市北区有野町有野字惣山3989-4 北神出張所
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」ながた分室	神戸市長田区北町1-16
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」きたすま分室	神戸市須磨区竜が台6-15-2 竜が台小学校
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」たるみ分室	神戸市垂水区日向2-4-6 垂水小学校
	神戸市立青少年育成センター「くすのき教室」にし分室	神戸市西区糺台3-32-1 糺台小学校
尼崎市	ほっとすてっぷEAST	尼崎市若王寺2-18-3 子どもの育ち支援センター
	ほっとすてっぷWEST ★NPO法人委託運営	尼崎市水堂町2-35-1 地域総合センター水堂
	ほっとすてっぷSOUTH ★学校法人委託運営	尼崎市大島3-9-25 大庄北生涯学習プラザ
	サテライト教室(中央地区)	尼崎市東難波町2-14-1 中央北生涯学習プラザ
	サテライト教室(大庄地区)	尼崎市大庄西町3-6-14 大庄北生涯学習プラザ
	サテライト教室(小田地区)	尼崎市潮江1-11-1 小田北生涯学習プラザ
	サテライト教室(武庫地区)	尼崎市武庫之荘88-1-1 武庫東生涯学習プラザ
	サテライト教室(立花地区)	尼崎市塚口町3-39-7 立花北生涯学習プラザ
	サテライト教室(園田地区)	尼崎市東園田町4-12-4 園田東生涯学習プラザ
	サテライト教室(琴城分校内)	尼崎市南城内10-2 成良中学校琴城分校
西宮市	あすなろ学級みらい	西宮市高畑町2-77 こども未来センター
	あすなろ学級なるおきた	西宮市花園町10-20 鳴尾北幼稚園
	あすなろ学級かわらぎ	西宮市中島町5-2 瓦木幼稚園
	あすなろ学級しおせ	西宮市名塩新町1 塩瀬公民館
	あすなろ学級やまぐち	西宮市山口町上山口2-3-43 山口中学校
芦屋市	適応教室(のびのび学級)	芦屋市打出小槌町15-9 打出教育文化センター
伊丹市	教育支援センター「やまびこ」	伊丹市千僧1-1 市役所
宝塚市	教育支援センター(中学部)「Pal たからづか」	宝塚市小浜1-1-9 教育センター分室
川西市	学びのスペース「セオリア」	川西市栄町11-3 パルティK2北棟2階 こども若者相談センター
三田市	あすなろ教室	三田市相生町26-15
猪名川町	猪名川町教育支援センター	川辺郡猪名川町紫合字火燈山8 福社会館
明石市	「東部もくせい教室」(明石市適応教室)	明石市中崎1-4-1 中崎小学校
	「西部もくせい教室」(明石市適応教室)	明石市二見町東二見454 二見小学校
加古川市	わかば教室	加古川市加古川町北在家2718 青少年女性センター
高砂市	高砂市適応指導教室(のびのび教室)	高砂市阿弥陀町生石61-1 教育センター

市町名	施 設 の 名 称	住 所
稲美町	ふれあい教室	加古郡稲美町国岡1-1 いきがい創造センター
播磨町	播磨町適応指導教室（ふれあいルーム）	加古郡播磨町東本荘1-5-30 町役場
西脇市	西脇市適応指導教室（はればれ教室）	西脇市西脇790-15 総合市民センター
三木市	適応教室「みつきいルーム」	三木市福井1933-12 教育センター
小野市	小野市適応教室「みらい」	小野市広渡町65
加西市	加西市立総合教育センター ふれあいホーム	加西市北条町古坂1173-14 総合教育センター
加東市	加東市適応指導教室「ふきのとう」	加東市木梨1131 社武道館
多可町	多可町適応教室「ほのぼの教室」	多可郡多可町中区岸上224-17 子育てふれあいセンター
姫路市	姫路市立総合教育センター 適応指導教室「ふれあい」	姫路市北条口三丁目29 総合教育センター
神河町	ユース教室	神崎郡神河町上岩25-1 神河中学校
市川町	どんぐり教室	神崎郡市川町小畑848
福崎町	のぞみ学級	神崎郡福崎町西田原1397-1 サルビア会館
相生市	相生市コスモス教室	相生市緑ヶ丘4-5-5 こども学習センター
赤穂市	赤穂市適応教室「ふれあい教室」	赤穂市加里屋中洲3-56 青少年育成センター
宍粟市	適応教室「さつき学級」	宍粟市山崎町青木172-1 菅野幼稚園
たつの市	龍野適応教室「やすらぎの部屋」	たつの市龍野町富永1005-1 福祉会館
	御津適応教室「ゆうあい」	たつの市御津町苅屋356-1 御津総合支所
太子町	太子町適応指導教室	揖保郡太子町鵜1369-1 太子町旧庁舎
上郡町	上郡町適応指導教室	上郡町上郡500-1 保健センター
佐用町	佐用町適応指導教室	佐用郡佐用町上月787-2 町役場支所
豊岡市	豊岡市こども支援センター	豊岡市城南町23-6 健康福祉センター
養父市	養父市子どもサポート室	養父市広谷250-1 養父地域局
朝来市	適応指導教室「すまいるルーム」	朝来市和田山町東谷213-13
香美町	香美町教育相談センター	美方郡香美町香住区香住100-2 香住文化会館
新温泉町	適応指導教室「ほっと児遊」	美方郡新温泉町浜坂2135-1 新温泉町文化会館
丹波篠山市	丹波篠山市適応指導教室「ゆめハウス」	丹波篠山市宮田240 市役所西紀庁舎
	丹波篠山市適応指導教室	丹波篠山市東沢田224 篠山中学校
丹波市	レインボー教室	丹波市春日町黒井1519-1 教育支援センター
洲本市	洲本市立青少年センター「適応教室」	洲本市山手1-4-12 青少年センター
	洲本市立青少年センター「適応教室五色教室」	洲本市五色町都志203 市役所五色庁舎
南あわじ市	ぱる（三原適応教室）	南あわじ市市善光寺22-1 市役所第2別館
	のびのび（西淡適応教室）	南あわじ市松帆古津路970-78 国立公園管理棟
	ほっぷ（南淡適応教室）	南あわじ市福良甲300 市立図書館
	ふれんどりー（緑適応教室）	南あわじ市広田広田206-1 緑老人福祉センター内
淡路市	淡路市立青少年センター	淡路市柳澤甲17-3 青少年センター

③ 教育支援センターについて

教育支援センター（適応指導教室）とは？

教育支援センター（適応指導教室）は、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の充実、基本的生活習慣の改善等のための相談・指導（学習指導を含む）を行うことにより、その社会的自立に資することを基本とする。

「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」より

市町によって、名称・受入体制・受入人数・取組内容など異なるため、詳細については各市町教育委員会ホームページ、または電話にてお問い合わせください。

※「適応指導教室」という名称については、その役割や機能に照らし、より適切な呼び方を望む声があったことから、国においては「教育支援センター」という名称を適宜併用することになっています。本県においても同様の対応をしています。

NPO法人に委託した教育支援センターの取組（尼崎市）

ほっとすてっぷ WEST

- ① 活動時間 月曜日～金曜日の 10：00～14：30（9：30 開錠 15：00 施錠）
※学校が休業日となる春季・夏季・冬季休業中及び土・日・祝日は休みです。
※学級閉鎖等の場合は在籍校に準じた指導を行います。
- ② 所在地 地域総合センター水堂内
- ③ 登録児童生徒数の上限 約 20 人



尼崎市教育委員会ホームページ 教育支援室「ほっとすてっぷ」より抜粋

④ 兵庫県内フリースクール等施設紹介

令和3年9月現在

頁	地域	施設名	電話番号	ホームページアドレス
17	東灘区	ダルボイ・アカデミー(Dull Boi Academy)	078-855-2612	https://dullboi.com
17		ランネット・グローバルスクール	078-436-8575	http://www.l-net.com/
18		フリースクールりんご 魚崎校	078-891-3737	https://freeschoolringo.wixsite.com/freeschool
18	灘区	ランネット・エッジ	078-584-1224	https://note.com/learnnet_edge
19	神戸市 中央区	一般社団法人 神戸フリースクール	078-360-0016	https://kfs.freeschool.jp
19		学校法人 神戸セミナー 松陰高校 神戸元町学習センター併設	078-341-1897	https://www.kobeseminar.ac.jp/
20		学校法人 三幸学園 飛鳥未来中等部・初等部神戸教室	078-335-8881	https://www.sanko.ac.jp/asuka-fs/kobe/
20		八洲学園 中等部 三宮キャンパス	078-261-2835	https://www.yashima.ac.jp/jhs/
21		一般社団法人 イドミィ	078-335-6808	www.ido-my.com
21		KTC おおぞら高等学院 中学生サポートコースくれしえんど	078-252-5830	https://www.ktc-school.com/campus/kobe/
22		第一学院中等部 神戸キャンパス	078-261-1172	https://www.daiichigakuin-jr.jp/
22		一般社団法人 教育・福祉支援認定協会 放課後等デイサービス アンの家神戸	050-3733-1298	http://wesc.or.jp/anhouse/
23		フリースクール ForLife NPO 法人 ふぉーらいふ	078-706-6186	http://fsforlife.sakura.ne.jp
23		オルタナティブスクール さとのわ	070-9004-3690	https://satonowa.info/academy/
24	尼崎市	株式会社 創伸館 杭瀬校	06-6430-9462	http://www.soushinkan.com/
24		株式会社 創伸館 名神校	06-6480-5971	http://www.soushinkan.com/
25		YUME フリースクール	06-4960-7351	https://school.yume.support/
25		ぐれいぶハウス (一般社団法人 office ひと房の葡萄)	06-4977-8731	http://hitofusa.com/
26	西宮市	一般社団法人 new-look TOB 塾	0798-56-7139	https://www.new-look.jp
26		西宮サドバリースクール	0798-70-0777	https://www.nishinomiyasud.com
27		NPO 法人 あんずぼこ ぼこ夙川教室	0798-56-9505	http://anspoco.amebaownd.com
27	芦屋市	ハッピーニューロン	0797-32-3032	
28		公益財団法人 こども教育支援財団 東京大志学園 芦屋校	0797-38-7686	https://tokyo-taishi.net/campuses/ashiya
28	伊丹市	フリースクールみらい 伊丹野間校	072-764-6335	https://kabuchans.wixsite.com/mysite/blank
29	猪名川町	光の子ども クリスチャンスクール	072-766-1256	http://gschikari.client.jp/index.html
29	明石市	feel 大久保 feel 小久保	078-220-3234 078-223-1146	https://cocotoko.com/
30	加古川市	F.S.播磨西高等学院 加古川校 小中等部	079-422-0549	http://www.harimanishi.com
30	稲美町	NPO 法人 ころあい自然楽校	079-439-7723	https://www.koroaishizen.com/
31	姫路市	NPO 法人 いまじん	079-227-4126	http://npo-imagine.com
31		F.S.播磨西高等学院 姫路校 小中等部	079-223-3334	http://www.harimanishi.com
32		NPO法人 京ロスコラ	079-222-3148	https://www.kyouguchi-cc.co.jp/newpage1.html
32		トライズ高等学院	03-5211-2211	https://www.try-gakuin.com/
33		合同会社ハシュアール 放課後等デイサービスかみふうせん	079-228-5947	https://www.kamifuusen.com/
33	市川町	一般社団法人デモクラティックスクール まっくろくろすけ	0790-26-1129	https://makkuro20.jp
34	豊岡市	デモクラティックスクール TOIRO	0796-20-3541	https://www.kns.hyogo.jp/toiro
34	丹波篠山市	インターナショナル デモクラティックスクール まめの木	090-8210-8317	https://ciao-sasayamaschool.ssi-lolipop.jp/sasayama-freeschool/

《施設紹介内容について》

※施設の掲載基準は目次ページを参照願います。

- ・施設紹介については、県が様式を定め、各施設に提出していただいたものです。
- ・「施設としての方針」の記号については、学習支援・屋外活動・屋内活動・教育相談・仲間づくり・親の会の各項目で、「◎」は最も力を入れている活動、「○」は取り組んでいる活動、「△」は場合によっては活動するもの、「ー」は活動していないもの、で記載しています。

ダルボイ・アカデミー Dull Boi Academy		住所	神戸市東灘区御影 2-5-10		
HP		交通機関	阪急「御影」下車 徒歩 3 分		
E-Mail		contact@dullboi.com		TEL 078-855-2612	FAX 078-855-2613
代表者	代表 金井祐真	施設としての方針			
設立	2016 年 12 月	◆ ダルボイ・アカデミーは今の教育システムに合わない若者をそのまま受け入れ、彼らに自分のおかれている立場や現状をごまかしなく直視し、自覚し、容認してもらいます。また、自分が新たに進むべき道を見つけ、自信と誇りをもって、その道を歩いていけるように自立をうながします。高卒認定や大学学位の取得はもちろん、そうした既成システムに同化、依存せず、システムの外でも一人で歩いていける元気と勇気と能力を養成する、人間再生の場です。			
受入校種	①・②・③・特				
運営日時	月～土曜 9:00～17:30				
定員	60 名				
在籍者数	40 名 (2021 年 4 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談
スタッフ	常勤 7 名 非常勤 10 名	◎	○	○	○
費用	入会金 50,000 円～	各コースから自分自身の興味関心、進路に合わせて複数のコースを選択する。 「コアコース」(在塾生必修) 自分の人生を生きる上で人間としての基本的な在り方を考え、心の芯をつくるコース(ヒューマニティーセミナー、哲学入門等)。 「資格取得コース」ダブルスクールで専門知識の学習や学位・資格取得を目指すコース。「高校・大学進学準備コース」教育開発出版の「eトレ」を使用し、小学校から高校生の主要全科目に対応し、基礎学力を固める。 「選択コース」多様なプロの講師の本格的指導で潜在意識を伸ばします(英会話、株式投資、コーラス、テニス、ダンス等)			
	授業料 月 30,000 円～				
任意参加の合宿やイベントも充実					

ランネット・グローバルスクール		所在地	神戸市東灘区岡本 2-8-14		
HP		交通機関	阪急岡本駅徒歩 5 分 JR 摂津本山駅徒歩 3 分		
E-Mail		info@l-net.com		TEL 078-436-8575	FAX 078-436-8576
代表者	炭谷 俊樹	施設としての方針			
設立	1996 年 4 月	1. 自立・探究型の学びの場です 2. 社会で必要な「生きる力」を育みます 3. 基礎的な生活習慣・学習習慣を重視しています			
受入校種	①・②・③・特				
運営日時	平日 8:30～15:40				
定員	48 名				
在籍者数	45 名 (令和 3 年 10 月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談
スタッフ	10 名	◎	○	○	△
費用	入会金 250,000 円	● 少人数、2 学年合同クラス ● 社会経験豊富なナビゲータが主体的学習をサポート ● 受け身学習ではなく、興味あるテーマを自ら見つけ調べ、行動し、判断し、表現するなど、主体的に学ぶ姿勢を身につけます ● 現地や博物館に出掛けたり、自らの手でものを作り出すなど、実体験を通して頭と心と体で学びます ● 自分の考えや気持ちを素直に表現し、お互いに刺激し理解し合う機会を多く持ちます			
	授業料 月 67,000 円				
岡本から六甲山のびのびロッジまでのスクールバス 費用年額 120,000 円					

フリースクールりんご 魚崎校		所在地 神戸市東灘区魚崎北町7-2-4 交通機関 阪神魚崎駅徒歩10分／JR住吉駅徒歩10分					
HP https://freeschoolringo.wixsite.com/freeschool		E-Mail free.sh.ringo@gmail.com		TEL 078-891-3737		FAX 078-891-3357	
代表者	藤田 弘	施設としての方針					
設立	2020年 2月	【もうひとつの選択肢】として、“居場所”作りを個々の状況に合わせて対応しています。 学習スペースでの学習活動や調理実習ができる環境もあります。					
受入校種	①・②・③						
運営日時	月・水・金 10:00～14:00						
定員	10名						
在籍者数	3名 (令和3年10月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	2名	○	—	◎	—	○	—
費用	入会金 110,000円	e-sports 活動に特化し、ゲームを通して “コミュニケーション能力” “社会適応力” を高めます。					
	授業料(月) 16,500円						
	(月)光熱費 3,300円						
	(月)諸費用 7,700円						

ラーンネット・エッジ		所在地 神戸市灘区篠原南町 6-1-10 グランピア灘 20A 号					
		交通機関 阪急「王子公園」、「六甲」、JR「摩耶」 下車徒歩 10 分					
HP https://note.com/learnnet_edge		E-Mail edge-info@l-net.com		TEL 078-584-1224		FAX	
代表者	代表 駒崎智紀	施設としての方針					
設立	2019 年 4 月	・「自分を照らし、人と互いに照らしあう」を理念とする、10 代の探究者のためのマイクロスクールです。 ・小 5 ～ 中 3 を主な対象としています。 ・探究したいテーマがあること、他者と一緒に物事を作り上げることに価値を感じられることを重視します。					
受入校種	①・②・高・特						
運営日時	月曜 ～ 金曜 8:45～15:30						
定員	15 名						
在籍者数	10 名 (2021 年 12 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	2 名	◎	○	○	○	○	—
費用	入会金 250,000 円	・自分が好きなこと、興味があることにひたすら取り組む「マジ探究」の時間が毎日ある。 ・午前は、数学・文学・英語・アート・体育の他に科目横断型のクラスや論理的・批判的に考え、教養を育むクラスがある。 ・知識供給型の授業は少なく、対話形式で進めている。					
	授業料 年 960,000 円 その他 設備充実費 100,000 円/年						

一般社団法人 神戸フリースクール		所在地 神戸市中央区北長狭7丁目3-1 1 坂下ビル 2F					
		交通機関 阪神 西元町・阪急 花隈 より徒歩 5～6分					
HP https://kfs.freeshool.jp							
E-Mail tokasya@hotmail.com		TEL 078-360-0016		FAX 078-965-7100			
代表者	田辺 克之	施設としての方針					
設立	1990 年 7 月	*子どもたちの自主性を大切にしています *いろいろな表現活動や体験活動を通じて自信を持ち、前向きな気持ちになれるよう、子どもたちと共に歩みます *お互いの個性を認め、尊重しあい、いろいろな人や仲間たちと関わる楽しさを感じられるような活動をしています					
受入校種	①・②・③・特						
運営日時	月曜～金曜 10：30～17：00						
定員	35名						
在籍者数	32名 (2021 年 10 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	5名	○	○	○	○	◎	○
費用	入会金 30,000 円	・いろいろな“遊び”を通じて、仲間同士でのコミュニケーション力が高まります ・畑作業や野外活動を通じて、自然に親しみつつ、身体を動かすことを楽しみます ・創作活動を通じて、共同作業を楽しんだり、自分を表現できる力を高めます					
	授業料 月 32,000 円						
	その他 活動の実費						

学校法人 神戸セミナー 松陰高校 神戸元町学習センター併設		所在地 神戸市中央区下山手通8丁目4ー26						
		交通機関 地下鉄「大倉山」		徒歩 5分				
		阪急「花隈」		徒歩 3分				
		阪神「西元町」		徒歩 3分				
		JR「神戸」		徒歩 10分				
HP https://www.kobeseminar.ac.jp/								
E-Mail info@kobeseminar.ac.jp				TEL 078-341-1897		FAX 078-341-6374		
代表者	理事長 喜多 徹人		施設としての方針					
設立	1966 年 4 月		・通信制高校を併設した、カウンセリングと大学受験のサポートを行う学校です。 ・中学、高校で学力的に厳しくなる、登校できなくなるなどで、順調でなくなった生徒様を受け入れています。 ・中学生で不登校の生徒様や保護者様の対応も可能です。					
受入校種	小・ 中 ・ 高 ・特							
運営日時	月曜～土曜 10：00～17：00							
定員	なし							
在籍者数	10 名 (2021 年 9 月現在)		学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	35 名		○	○	○	◎	○	—
費用	入会金 20,000 円		・学力が低くても全く問題ありません。中学レベルから旧帝大レベルまで対応しています。 ・心療内科や精神科通院の生徒様への対応実績も多くあります。 ・保護者様自身の心理カウンセリングも対応しています。					
	授業料 月 35,000 円							
	その他							

学校法人 三幸学園 飛鳥未来中等部・初等部神戸教室		所在地 神戸市中央区御幸通3-2-22-2F 交通機関 各「三宮」 徒歩約6分					
HP https://www.sanko.ac.jp/asuka-fs/kobe/		TEL 078-335-8881 FAX 078-335-8882					
E-Mail info-kobe-freeschool@sanko.ac.jp							
設置者及び代表者 設立 受入校種 運営日時 定員 在籍者数 スタッフ		施設としての方針					
学校法人 三幸学園 理事長 屋間 一彦 2019年 4月 小・中・高・特 (小4～中3まで) 月曜～金曜 10:00～15:00 40名 24名 (2021年11月現在) 8名		・主体性を培い、自主学習を通して生き抜く力を育む ・いつかみらいへ羽ばたくための時間とエネルギーを充電する場所 ・一人ひとりの主体性、社会性、好奇心を育むためのサポート・バックアップが充実					
		学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
		◎	○	○	○	○	—
費用		・姉妹校飛鳥未来きずな高校と連係した学習支援 ・カウンセリング資格を持つ教職員 ・安心・安全・快適な校舎環境 ・任意参加のイベントも多数用意					
入学金:50,000円 授業料:月30,000円～ 各コースによって 授業料は変動します。							

八洲学園 中等部 三宮キャンパス		所在地 〒651-0086 神戸市中央区磯上通 8-1-33 幸和ビル 2F 交通機関 JR線「三ノ宮」 阪急・阪神線「神戸三宮」 徒歩 5～7 分					
HP https://www.yashima.ac.jp/jhs/							
E-Mail s-sannomiya@yashima.ac.jp		TEL078-261-2835		FAX078-261-2836			
代表者	学校長 林 周剛	施設としての方針					
設立	1992 年 4 月	・ 不登校生のための居場所 ・ 「居場所からの自立」をテーマに中学校復帰を念頭に無理のない教育活動をおこないます。					
受入校種	小・ 中 ・高・特						
運営日時	月曜、火曜、木曜 9：00～11：50						
定員	—						
在籍者数	15 名 (2021 年 11 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	5 名	○	—	○	○	◎	—
費用	入会金 円 授業料 月 円 その他 (年度毎) 教材費 5,000 円	・ 日々、学習以外に活動時間を設け、仲間たちとカードゲームや雑談、作品作りをしています。真面目で落ち着いた生徒が多く、のびのびと日々過ごしています。また少人数になることが多く、アットホームな環境です。					

一般社団法人 イドミィ		所在地 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 7-6-15 広狩ビル 101					
		交通機関 JR「元町」 阪急「花隈」 阪神「西元町」 地下鉄「大倉山」 徒歩 8-15 分					
HP アドレス		www.ido-my.com					
E-Mail		info@ido-my.com		TEL 078-335-6808		FAX なし	
代表者	高橋 惇	施設としての方針					
設立	2018 年 4 月	「認める」主体性を尊重し、子どもの選択を認めます。 「満たす」子どもの心を満たします。 「伸ばす」子どもの長所を伸ばします。 「挑む」やってみたいことを、一緒に挑戦してみます。 「外に出る」定期的にアウトドアや課外活動を行います。 「異年齢交流」小1～高3まで参加可能です。20 代から 40 代まで幅広い年代、国籍、所属のスタッフが関わっています。 「柔軟性」当日欠席 OK です。参加頻度も、週 1,2,3 回から選べますし、隔週参加や月 1 回参加も OK です。					
受入校種	①・②・③・特						
運営日時	水木金 10:30～14:30						
定員	20 名						
在籍者数	13 名 (令和3年10月末現在)						
スタッフ	11 名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
		○	◎	○	○	○	—
費用	入会金 10000 円	*兵庫県各地より通学している児童・生徒さんがいます。 *通信制高校サポート校を併設しているため、高卒資格も取得できます。 *卒業後の進路や、就職へのサポートも実施しています。					
	授業料 3500～5200 円/回						
	その他						

KTC おおぞら高等学院		所在地 神戸市中央区北野町 2-6-5 北野町 ANDATINO						
中学生サポートコースくれしえんど		交通機関 各三宮駅より北へ徒歩 10 分						
HP アドレス		https://www.ktc-school.com/campus/kobe/						
E-Mail kobe-office@ktc-school.com		TEL 078-252-5830		FAX 078-252-5831				
代表者	白井幸大	施設としての方針						
設立	2002 年 4 月	KTC おおぞら高等学院 中学生サポートコースくれしえんど は、中学生を対象にした通学と学習のサポートコースです。「中学校に通えていないので高校進学が不安」「友だちをつくりたい」など、中学生の抱える様々な悩みや不安を解消するためにうまれました。キャンパスへの登校と、インターネットによる在宅のサポートがあり、登校・学習・コミュニケーションの3つのサポートを一人ひとりに寄り添って行っています。						
受入校種	①・②・高・特 (小 6.1 月～可)							
運営日時	(木) 14:30～16:00 (土) 14:00～16:00							
定員	— 名							
在籍者数	63 名 (令和3年 10 月末現在)							
スタッフ	23 名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会	
		○	—	○	○	◎	○	
費用	入会金	仲間づくりに関しては、コミュニケーションサポートとして、グループワークを行っています。						
	授業料							月 18,300 円
	その他							

第一学院中等部 神戸キャンパス		所在地 神戸市中央区磯辺通 4-1-38 ザ・シティ神戸三宮ビル7F 交通機関 阪急・阪神：神戸三宮駅、JR：三ノ宮駅				
HP アドレス https://www.daiichigakuin-jr.jp/						
E-Mail kobe@daiichigakuin.jp			TEL 078-261-1172		FAX 078-261-1170	
代表者	辻本 滋夫	施設としての方針				
設立	2020 年 4 月	中学生およびその保護者が抱える不安や悩み（不登校、学習、高校進学、将来など）を、解決するためのきっかけ作り（各自の状況に合わせた学習支援、1 対 1・グループ対応にて高校生・大学生との繋がりや交流など）を通じて、生徒第一・1／1 の理念のもと、生徒の可能性を引き出すことや自信に繋がることを第一に考えて活動する。				
受入校種	小・ 中 ・高・特					
運営日時	月曜～金曜 10：00～17：00					
定員	20 名					
在籍者数	13 名 (令和3年10月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり
スタッフ	11 名	○	△	○	○	◎
費用	入会金（登録料）5,500 円	将来の社会生活を営む上で必要な、対人関係やグループ・チーム活動（アウトプット）を、できるところから体験・実践することを主としています。				
	授業料 月 11,000 円					
	その他					

一般社団法人 教育・福祉支援認定協会		所在地 神戸市中央区多聞通4ー1ー2				
放課後等ディサービス アンの家神戸		交通機関 JR「神戸」 徒歩5分 地下鉄「大倉山」 徒歩7分 阪神・阪急「高速神戸」 徒歩1分				
HP アドレス http://wesc.or.jp/anhouse/						
E-Mail anhouse@wesc.or.jp		TEL:050-3733-1298		FAX :078-381-6638		
代表者	代表理事 案浦幹雄	施設としての方針				
設立	2017 年 12 月	・通信制高校と同じ建物内にあり（利用階は別）教育と療育の両面からサポートしています。高校卒業資格の取得と高校卒業後に自分の不得意な分野を少しでも減らして自立できるようにします。 ・漢字パズルやクロスワードを使った語彙力の向上や迷路や積み木の数を数えることで空間認知力を高めています。 ・コミュニケーション力、協調性、社会性の向上を図るためにアナログゲーム（トランプ、オセロ、人生ゲームなどのボードゲーム）を実施し、友達づくりをします。 ・文章を読む力を向上させるためのビジョントレーニングや数学や空間認知を高めるためのワーキングメモリトレーニングなど療育に関することも実施しています。				
受入校種	小・中・高・特					
運営日時	月・火・木・金・土 10:00～17:30 (土曜日は 16:30 まで)					
定員	1 日 10 名 主として中高生が対象 (小学生はご相談ください)					
在籍者数	約 40 名 (令和3年10月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり
スタッフ	6 名	◎	△	○	○	○
費用	入会金 なし	・教員免許保持者や教育カウンセラーと一緒に小・中学校の内容を中心に楽しく学びます。 ・兵庫県内には姫路にも放課後等ディサービス「アンの家」があります。また「明石土山」「大阪梅田」「京都伏見」でも「セイカ学園中等部」という別名称でフリースクールを実施しています。アンの家神戸以外の問い合わせは全て 050-3733-1028（社団法人教育福祉支援認定協会）までお願いします。				
	授業料 利用日数に関係なく利用者上限負担額が定められている。					
	非課税世帯・・・0円 世帯年収 890 万未満は月額上限 4,600 円など その他					

フリースクール ForLife NPO 法人 ふぉーらいふ		所在地 神戸市垂水区瑞穂通 7-2					
HP http://fsforlife.sakura.ne.jp		交通機関 JR・山電「垂水」 徒歩 10 分 山陽バス「水道橋」 1 分					
E-Mail forlife@hi-net.zaq.ne.jp		TEL 078-706-6186 FAX 078-706-6186					
設置者及び 代表者	中林 和子	施設としての方針					
設立	1997 年 10 月	・安心できる「居場所」づくり ・「自主・自立」「生活といのち」を理念としている ・「子どもがつくる・子どもとつくる」が活動のモットー ・ありのままのお互いを認め合う ・他人の権利を尊重する ・対話によるコミュニケーションの力を養う					
受入校種	①・②・③・④						
運営日時	月～金曜 10：00～18：00 月・木は 12：00～						
定員	25 名						
在籍者数	14 名 (令和 3 年 10 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	8 名	○	◎	○	○	○	○
費用	入学金 10,000 円	・里山自然体験活動（三田市藍本）：里山保全/木工/などを実施 ・農業体験活動（多可町）：田植え・稲刈りなどを実施 ・地域交流活動（区民スポーツの日/商店街夏祭り/ハロウィーン/いかなご祭り/フリーマーケット）など地域主催の行事に参加 ※運営日時、費用等は小中学校段階のもので、高等学校段階についてはお問合せください。					
	授業料 月 33,000 円 その他 28,000 円/学期 （施設・活動費）						

オルタナティブスクール さとのわ		所在地 神戸市西区押部谷町木幡 369				
HP アドレス https://satonowa.info/academy/		交通機関 神戸電鉄「木幡駅」徒歩5分 神姫バス「木幡」下車5分				
Mail satonowa311@gmail.com		TEL 070-9004-3690			FAX なし	
代表者	佐藤 正彰	施設としての方針				
設立	2020 年 4 月	自然豊かな里山フィールドで個人が自分の可能性を十分に実現し、自分の夢と目標を成し遂げることを支援する。 自律・自立を目指し、自分の意見を持ち、他者を受入れ、自分の問いに答えを見つけられる様な学び場として体験活動を重視しています。				
受入校種	①・②・高・特					
運営日時	月・火・水・木 9：30～14：00					
定員	15 名					
在籍者数	7 名 (令和3年 10 月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり
スタッフ	7 名	◎	○	○	○	○
費用	入会金 10,000 円	◇プロジェクト型学習 ◇自然と共生しながらの人間形成 ◇子どもの自由な発想をサポートする				
	授業料 月 10,000 円～					
	その他 教材費あり					

株式会社 創伸館 杭瀬校		所在地 尼崎市杭瀬北新町 2-1-17 メゾン松村 2F					
HP http://www.soushinkan.com/		交通機関 阪神本線「杭瀬」下車 徒歩 5 分					
E-Mail info@soushinkan.com		TEL 06-6430-9462	FAX 06-6430-9463				
設置者及び 代表者	株式会社 創伸館 代表取締役 兼本盛広	施設としての方針					
設立	2016 年 4 月	創伸館内では、学校に行っている・行っていないはあまり重要な事柄ではなく、困っていることがあれば助け合い、楽しいことがあれば共有し、やりたいことがあればやってみる。そんな毎日を過ごしています。					
受入校種	①・②・高・③						
運営日時	月曜～金曜 11：00～15：00						
定員	10 名						
在籍者数	1 名 (2021 年 9 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	2 名	◎	○	○	○	○	—
費用	入会金 なし	・特別な教材を使わず、学校の教科書・問題集を使用 →・学校に戻っても大丈夫のように ・保護者の費用負担が増えないように					
	授業料 月 15,000 円						
	その他 課外活動は実費						

株式会社 創伸館 名神校		所在地 尼崎市名神町 3-9-24 古川ビル 202					
		交通機関 阪急バス「久々知」下車 徒歩 2 分					
HP http://www.soushinkan.com/							
E-Mail info@soushinkan.com		TEL 06-6480-5971	FAX 06-6480-5972				
設置者及び 代表者	株式会社 創伸館 代表取締役 兼本盛広	施設としての方針					
設立	2015 年 9 月	創伸館内では、学校に行っている・行っていないはあまり重要な事柄ではなく、困っていることがあれば助け合い、楽しいことがあれば共有し、やりたいことがあればやってみる。そんな毎日を過ごしています。					
受入校種	①・②・高・③						
運営日時	月曜～金曜 10：00～14：00						
定員	10 名						
在籍者数	6 名 (2021 年 9 月現在)						
スタッフ	8 名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
		○	○	○	◎	○	—
費用	入会金	なし					
	授業料	月 15,000 円					
	その他	課外活動は実費					
		・ 特別な教材を使わず、学校の教科書・問題集を使用 → ・ 学校に戻っても大丈夫のように ・ 保護者の費用負担が増えないように					

YUME フリースクール		所在地	尼崎市潮江 1－15－3				
HP https://school.yume.support/		交通機関	JR「尼崎」下車 徒歩6分				
E-Mail amagasaki@yume.support		TEL 06-4960-7351	FAX 06-4960-7352				
代表者	茅原 一幸	施設としての方針					
設立	2021 年 5 月	・フリースクールと訪問支援などで不登校に対応していく ・学習支援は 1 対 1 の個別指導、集団授業を設置 ・単発フリースクールなど自分に合わせて登校できる ・将来的に社会集団で生活できるよう自立・自律を図る					
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	月曜～金曜 10:00～16:00						
定員	40名						
在籍者数	30名 (2021 年 11 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	5名	◎	○	○	○	○	○
費用	入会金 55,000円	・一人ひとりの状況に合わせて学習や進路をサポート ・実施されるイベントで生徒の人間力を向上 ・イベントを通じて友達ができ人間関係を広めることができる					
	月 1,500～95,000円						
	その他 —						

ぐれいぷ ハウス (一般社団法人 office ひと房の葡萄)		所在地 〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町3丁目 3-31					
HP アドレス http://hitofusa.com/		交通機関 JR 立花駅より南へ徒歩 7 分					
E-Mail cashewnut27@gmail.com		TEL 06-4977-8731		FAX 06-4977-8731			
代表者	代表理事 赤井郁夫	施設としての方針					
設立	2017 年 9 月	◆「大人の都合は引っ込める」「子どもの事情を優先し、線引きをしない」ことを前提に運営しています。年中無休で時間外でも開室し、いつ来てもいつまで居ても構いません。連絡は 24 時間 OK です。					
受入校種	小・中・高・特	◆ケアが必要な場合はケアを優先します。お腹が空けば料理やお菓子を作ったりして一緒に時間を過ごしなが、一人ひとりの課題を把握しています。					
運営日時	年中無休 (年末年始・警報発令日などを除く)	◆養育者との関係を重視しています。オープンハイスクールや学校説明会への同行や 3 者面談に同席するなど親代わりも務めます。					
定員	30 名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
在籍者数	21 名 (令和3年 10 月末現在)	◎	○	○	○	○	△
スタッフ	6 名						
費用	入会金 なし 円 授業料 月 3,000～円 その他	勉強を中心とする場合は専用教材を使用します。遅れが著しい場合は教材を工夫し、新聞のコラムを使うことやコグニティブトレーニングを行うこともあります。					

一般社団法人 new-look TOB 塾		所在地 西宮市高木西町 14-6
HP https://www.new-look.jp		交通機関 阪急「西宮北口」下車 徒歩10分
E-Mail info@new-look.jp		TEL 0798-56-7139 FAX 0798-56-7139
設置者及び 代表者	一般社団法人 new-look 代表 山口 真史	施設としての方針 ・学力、資格の獲得 ・社会性、つながりの獲得 ・安心基地の獲得 ・希望、応援の獲得 高校中退、既卒、不登校などそれぞれの状態と目指す方向で受験や資格の勉強、相談などを進めていきます。
設立	2013年 5月	
受入校種	小・ 中 ・ 高 ・特	
運営日時	月曜～土曜 10:00～21:00 (土曜 17時まで)	
定員	50名	
在籍者数	31名 (2021年 11月現在)	学習支援
スタッフ	22名(うち職員3名)	屋外活動
費用	入会金 20,000円	屋内活動
	授業料 月 24,000円～ その他 -	教育相談
		仲間づくり
		親の会

西宮サドベリースクール		所在地 西宮市広田町2-15
HP https://www.nishinomiya-sud.com		交通機関 阪急「西宮北口」 徒歩15分 JR「西宮」 徒歩20分 阪神「西宮」 バス20分
E-Mail staff@nishinomiya-sud.com		TEL 0798-70-0777 FAX 0798-70-0777
代表者	倉谷 明伸	施設としての方針 ・世界で60年以上の歴史のあるサドベリースクールの理念で運営されている、新しいタイプの学校です。
設立	2000年4月	
受入校種	小 ・ 中 ・ 高 ・特	
運営日時	月曜～金曜 10:00～16:00	
定員	30名	
在籍者数	23名 (2021年11月現在)	学習支援
スタッフ	2名	屋外活動
費用	入会金 0円	屋内活動
	授業料 月 35,000円～ その他 -	教育相談
		仲間づくり
		親の会

NPO 法人 あんずぽこ ぽこ夙川教室		所在地 西宮市松園町 13-25-102				
HP http://anspoco.amebaownd.com		交通機関 阪急「夙川」 徒歩 5 分				
E-Mail kawana2yo@gmail.com		TEL 0798-56-9505		FAX 0798-75-2618		
設置者及び 代表者	NPO 法人あんずぽこ 代表 河村 夏代	施設としての方針				
設立	2014 年 3 月	- 子どもが学校を卒業し、その後自立するまで見守ります。 - 自律性/主体性を大切に、他者と共生する力を異年齢の中で育みます。 - 元教員や指導経験者が専門性を生かし、個別学習支援をします。 - 学校と連携をとり、子どもの教育の権利を保障できるよう努めます。 - 不登校体験が人生の財産/生きる力になることを目指します。 - 保護者には子育ての仕上げ期を、孤立しないでつながり、社会に開かれていく好機になるよう支援します。				
受入校種	①・②・③・特					
運営日時	月曜～金曜 9：30～14：30					
定員	30 名					
在籍者数	26 名 (2021 年 10 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり
スタッフ	8 名	◎	○	○	○	○
費用	年会費 10,000 円	- 保護者の集い（不登校を考える親の会）を毎月第 3 日曜に開催。 - 個別相談を臨床心理士が受けます。 - 希望者には、昼食時に味噌汁があります。（2 月に味噌を作ります。）				
	利用料 1 回 2,000 円 家庭状況での特別配慮有					

ハッピーニューロン		所在地 芦屋市伊勢町 10—6					
HP 現時点ではありません		交通機関 阪神「芦屋」下車 徒歩 13 分 JR「芦屋」下車 徒歩 15 分 阪急「芦屋川」下車 徒歩 20 分					
E-Mail info@happy-neuron.co.jp		TEL 0797-32-3032	FAX 0797-32-3033				
設置者	ハッピーニューロン（株）	施設としての方針					
設立	2016 年 4 月	・不登校の子どもの状況を把握するために面談を行い、現状や保護者の考えを丁寧に伺って最大限考慮したうえで、子どもに合った最適な通い方や学び方を完全オーダーメイドでプログラムする。 ・子どもの性格や学力、体力、社会性などは個々によって大きく異なるため、本人に見合った指導内容を進め、継続できるようにサポートする。 ・勉強すること、同世代と共に過ごすこと、スポーツに対して拒絶感を持つ子どもが多い。個々のケースで、進級や資格取得はもちろんのこと、生きる上で一番重要な年齢相応の心の成長を促し、学力や体力をつけ、人との関わりの中で心や協調性も成長することに力を入れている。 ・イベント、ガーデニング、合宿、アウトドアや釣りなどの課外体験学習に力を入れている。（参加自由）実体験の機会を多く持つことで、仲間と協力し合う喜びも感じることが出来る。また、五感を鍛えることで、物事をバランス良く考える力を育み、結果として学習意欲も高まっている。 ・自分の気持ちを言葉で話せるように、母語である日本語の学習を強化している。また、哲学や文学の特別クラス、自己啓発のクラス、個別、集団でのカウンセリングも実施し、総合的に力を伸ばせるよう取り組んでいる。 ・子どもの創造性を伸ばすため、各分野の専門性を大事にしている。そのため各教科に有資格者の専任講師、テニスとギターはプロにレッスンを依頼している。 ・礼儀や挨拶などの社会性も身に付けられるように、日々の生活の中で指導していく。					
受入校種	①・②・③・特 ※大学生年齢も在籍						
運営日時	月曜～土曜 10：00～17：00						
定員	25 名						
在籍者数	15 名 (2021 年 11 月現在)						
スタッフ	10 名 (学科非常勤講師含)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
		○	○	○	○	◎	○
費用	入会金 30,000 円 授業料 ※通い方による 月 31,000～51,000 円 その他	不登校した子どもはゲームやネットに没頭しがちで、家族以外、ひどい場合は家族とも接点を持とうとしません。寄せられる親御さんの希望の多くは「同年代の仲間と楽しく過ごしてほしい」「子どもが安心して集う場所があれば」というものです。そこで、施設の一階はオープンルームとして開放し、子ども達がゆっくりくつろげるスペースを設けています。フロアにはお洒落なインテリアやソファ、またオープンキッチンもありクッキングに使用できます。また、スタッフもそのスペースに必ずおり、いつでも会話ができます。子ども同士だけの空間では不安に思う生徒には、大きな安心材料です。					

公益財団法人 こども教育支援財団		所在地 芦屋市上宮川町 4-1 2F					
東京大志学園 芦屋校		交通機関 JR「芦屋」下車 徒歩 3 分					
HP https://tokyo-taishi.net/campuses/ashiya							
E-Mail ashiya_info@kodomo-zaidan.net		TEL 0797-38-7686	FAX 0797-23-1907				
代表者	河邊 文宏	施設としての方針					
設立	2005 年 4 月	・キャンパス通学を通じた学校復帰支援 ・教科学習型学習支援 ・進学、進路の相談 ・本人、家族のメンタルケア ・教育シンポジウム ・親の会  (HP 用 QR コード)					
受入校種	⓪・⓪・高・特						
運営日時	月曜～金曜 9：20～15：40						
定員	30 名						
在籍者数	20 名 (2021 年 11 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	12 名	◎	○	○	○	○	○
費用	入会金 30,000 円	・平日 1～6 時間の時間割制 ・教員免許を持った教員による教科指導 ・大学生ボランティアスタッフによる個別学習指導、授業補助 ・通室コース（週 2～5 日または週 1 日）、家庭訪問コースなど、本人のペースに合わせた支援プラン					
	授業料 月 20,000 円～ その他 Web 学習費 月 1,000 円						

フリースクールみらい		所在地 伊丹市野間2丁目7-41					
伊丹野間校		交通機関 阪急塚口駅 伊丹市バス野間下車すぐ					
HP アドレス		https://kabuchans.wixsite.com/mysite/blank					
E-Mail harukallc@houkagodaymirai.com		TEL 072-764-6335		FAX 072-714-0226			
代表者	鎗木 智	施設としての方針					
設立	2019 年 1 月	支援の仕方では子どもは変わります。 『長い間学校を休んでいる』『学校の授業がわからなくなってきた』『人との関係がうまくいかない』・・・こんな『困り感』のあるお子さまに、小さな成功体験の積み重ねることによって『自己肯定感』を高めて、課題解決に向けて支援します。					
受入校種	⓪・⓪・高・特						
運営日時	月曜日～金曜日 10：00～17：00						
定員	10 名						
在籍者数	6 名 (令和3年10月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	6 名	◎	○	○	○	○	—
費用	入会金	0円					
	授業料	月 20,000 円					
	その他	・学校との連携で、学校復帰を目指します。 ・自学自習をモットーにしていますが、しっかりと学習サポートができる専門性の高い（元学校長、教員、公認心理師等）人材が支援します。					

光の子ども クリスチャンスクール		所在地 兵庫県川辺郡猪名川町若葉二丁目 41 番地					
HP アドレス http://gschikari.client.jp/index.html		交通機関 阪急川西能勢口駅/JR 川西池田駅より送迎バス					
E-Mail hikarinokodomosol@yahoo.co.jp		TEL 072-766-1256		FAX 072-766-7639			
代表者	青木由美子	施設としての方針					
設立	2000 年 4 月	プロテスタント・キリスト教会が母体として運営しているフリースクールです。聖書を土台とした人格教育を中心として、様々な個性を育み、社会に貢献できる人材を送り出す働きをしています。					
受入校種	小・中・高						
運営日時	月～金 9 時～16 時						
定員	120 名						
在籍者数	59 名 (令和3年 10 月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	20 名	◎	○	○	○	○	○
費用	入学金 100,000 円	中高生の英語・数学については、学齢別のクラス編成ではなく習得度別に 6 クラスを開講し、生徒各自が現在の理解度に応じた学習を進めることが出来るように配慮しています。					
	授業料 月 33,000 円						
	その他 施設使用料他						

feel 大久保・feel 小久保		所在地 大久保：〒674-0051 兵庫県明石市大久保町大窪 1557-8 小久保：〒673-0005 兵庫県明石市小久保 5-5-4 交通機関 大久保：JR「大久保駅」より徒歩 13 分 小久保：JR「西明石駅」より徒歩 10 分					
HP アドレス https://cocotoko.com/							
E-Mail (大久保) cocoro2017@zeus.eonet.ne.jp (小久保) cocoro2021@zeus.eonet.ne.jp		TEL 大久保：078-220-3234 小久保：078-223-1146		FAX 大久保：078-224-1023 小久保：078-223-1146			
代表者	杉下 味香	施設としての方針					
設立	大久保：2020 年 7 月 小久保：2021 年 4 月	●障害の有無に関わらず、子ども・保護者・関係者が気軽に相談でき、心のよりどころになるような場所を提供します。 ●個々のニーズに合わせて生活や学習に関わる相談や支援を行います。 ●心身の居場所を提供することで自死予防に取り組みます。					
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	大久保：火・木 9 時～12 時 小久保：水・金 9 時～12 時						
定員	各 10 名						
在籍者数	(大久保) 6 名 (2021 年 10 月末現在) (小久保) 3 名 (2021 年 10 月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	11 名(大久保) 10 名(小久保)	○	○	○	○	◎	○
費用	入会金 15,000 円	●通所が難しい場合、ZOOM 等によるオンラインでの体験・ご家庭などへの出張相談・訪問も承っております(初回無料。交通費のみかかります)。携帯やパソコンにカメラがある方は設定すると無料で使用することができます。 ●精神面での困難さがあるお子さまにも対応いたします。 箱庭やプレイセラピー、カウンセリングも行っています。 ●保護者の方への面談や、保護者同士の交流会も行います。 ●臨床心理士・公認心理師・教員免許・保育士の資格を持ったスタッフがいます。 ●放課後等デイサービスも行っております(受給者証が必要です)。 ●学校園などに訪問して、お子さまへの支援や学校園の先生への相談・連携を行うことができます(受給者証または自費が必要です)。					
	授業料 月 15,000 円程度 1 時間 650 円						
	その他						

F.S.播磨西高等学院 加古川校 小中部		所在地 加古川市加古川町寺家町656 101 番館ビル 3・4F					
HP http://www.harimanishi.com		交通機関 JR「加古川」 徒歩5分					
E-Mail info@harimanishi.com		TEL 079-422-0549		FAX 079-451-6068			
設置者及び 代表者	F.S.播磨西高等学院 高田 英明	施設としての方針					
設立	H16年4月	・小中学校対象で、不登校傾向の児童生徒を受け入れる（居場所づくり） ・一人一人の児童生徒に自分で決めて実践する習慣を身につけさせ、自信回復につなげる ・小中学校に報告書提出（月末）する。高校進学については、本人、保護者の意見を尊重する					
受入校種	①・②・高・特						
運営日時	木曜～金曜 9：30～16：00						
定員	なし						
在籍者数	3名 (2021年12月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	2名	○	○	○	○	◎	—
費用	入会金 20,000円	・体験期間3ヶ月間は無料 ・入学希望者は入学金 20,000円 ・1回 2,000円（登校日）					
	授業料 2,000円/回 その他 体験期間あり 3ヶ月は無料						

NPO 法人 ころあい自然楽校		所在地 〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古					
HP アドレス https://www.koroaishizen.com/		交通機関 JR加古川駅から神姫バス(七軒屋)下車徒歩 8 分					
E-Mail eekoroai@gmail.com		TEL 079-439-7723		FAX なし			
代表者	大江 佑里子	施設としての方針					
設立	2018 年 9 月	オランダのイエナプラン教育に習って授業を展開しており、子どもの持つ主体性が尊重され、異年齢の関わりを通して互いに学び合える環境です。 自然養育を基本に、多様な考え方・違った意見を認め合い、対話を通して学びを深める事を大切にしています。					
受入校種	①・中・高・特						
運営日時	月火木金 9：00～14：30						
定員	13 名						
在籍者数	9 名 (令和3年10月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	2 名	○	○	◎	○	○	○
費用	入学金 30,000円	子どもたちが主体となり計画し、対話的に深く学んでいくことに重点をおいています。 毎日の日課は、教科ごとに区切られておらず、4つの基本活動【対話、遊び、仕事（基礎学習）、催し（プロジェクト）】が循環するように決められています。その中で、個別学習や共同学習する時間があります。何かテーマを決めて学習する場合は、異年齢で全員が納得するあり方を対話で学んでいきます。					
	授業料 月33,000円						
	その他						

NPO 法人 いまじん		所在地 姫路市大塩町572-7					
HP http://npo-imagine.com		交通機関 山陽電車「大塩」下車 徒歩 10分					
E-Mail kishi-roney@hera.eonet.ne.jp		TEL 079-227-4126	FAX 079-227-4126				
代表者	岸本 俊之	施設としての方針					
設立	2013 年 3 月	・ 子どもの権利条約にうたわれている「子どもの最善の利益」を大切に、子どもと接します。 ・ 保護者の不安と向き合い、相談に応じます。 ・ 様々な活動を通して、スタッフや友だちと安心して楽しく過ごせる場を提供します。					
受入校種	○小・○中・○高・○特						
運営日時	火曜、金曜 13：00～15：00						
定員	未定						
在籍者数	7 名 (2021 年 11 月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	4 名	◎	○	○	○	○	○
費用	入会金 10,000 円	・ 教員免許をもった職員が個別に近い形で学習を見ている。 ・ 学校と連携して必要に応じてフリースクール内でテストを受けられる体制が整っている。 ・ 通信制高校と提携しているため、高校卒業資格が取得できる。					
	授業料 月 15,000 円(小) 20,000 円(中高)						
	諸経費 月 1,500 円						

F.S.播磨西高等学院 姫路校 小中等部		所在地 姫路市本町 68-170 大手前第1ビル 2F 交通機関 JR「姫路」 徒歩 10分					
HP http://www.harimanishi.com		E-Mail info@harimanishi.com		TEL 079-223-3334	FAX 079-223-3372		
設置者及び 代表者	F.S.播磨西高等学院 高田 英明	施設としての方針					
設立	H16年4月	・小中学校対象で、不登校傾向の児童生徒を受け入れる（居場所づくり） ・一人一人の児童生徒に自分で決めて実践する習慣を身につけさせ、自信回復につなげる ・小中学校に報告書提出（月末）する。高校進学については、本人、保護者の意見を尊重する					
受入校種	○小・○中・高・特						
運営日時	木曜～金曜 9：30～16：00						
定員	なし						
在籍者数	15名 (2021年12月現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	5名	○	○	○	○	◎	—
費用	入会金 20,000円	・体験期間3ヶ月間は無料 ・入学希望者は入学金20,000円 ・1回2,000円（登校日）					
	授業料 2,000円/回						
	その他 体験期間あり 3ヶ月は無料						

NPO法人 京ロスコラ		所在地	姫路市京口町 105		
HP		交通機関	JR 播但線「京口」 徒歩2分		
E-Mail		suda@kyouguchi-cc.co.jp		TEL	079-222-3148
				FAX	—
設置者及び 代表者	NPO法人 理事長 須田 泰司	施設としての方針			
設立	1986 年4月	・人間力を育てます。 ・人を信じる勇氣、友を愛する勇氣、夢を生きる勇氣が持てるように関係を作っていきます。 ・利用者にとっての認識力と関係力のバランスをサポート。			
受入校種	①・②・③・特				
運営日時	火曜～土曜 10:00～18:00				
定員	30名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談
在籍者数	10名 (令和3年11月現在)	◎	○	○	○
スタッフ	7名				
費用	入会金 10,000 円	・学習能力、学習意欲を向上させます。 ・好奇心を持って、五感を刺激して、それをコトバにして、初めて体験となるため、行動、活動も重視しています。			
	授業料 月 50,000 円 その他 利用者の状況に 応じて相談				

トライ式高等学校		所在地	兵庫県姫路市駅前町 254 姫路駅前ビル 5F		
HP アドレス		交通機関	JR姫路駅中央口より徒歩3分 山陽電鉄山陽姫路駅より徒歩2分		
E-Mail		soumubu@trygroup.com		TEL	03-5211-2211
				FAX	03-5215-7080
代表者	平田 友里恵	施設としての方針			
設立	平成2年4月	不登校の支援を学習サポートに重きを置いて実施している。 指導はマンツーマンで実施し、イベントや行事などに参加してもらうことで、居場所の提供も実践しながら、最終的な学校復帰を目指している。			
受入校種	①・②・③・特				
運営日時	月～金 9:00～18:00				
定員	250 名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談
在籍者数	105 名 (令和3年10月末現在)	◎	○	○	○
スタッフ	職員2名 講師25名				—
費用	入会金 0 円	生徒一人ひとりに個別の担任が付き、生徒の状況を考慮したオリジナル計画を提示し、マンツーマンで指導を実施している。			
	授業料 月 19,800 円 その他				

合同会社ハシュアール 放課後等デイサービスかみふうせん		所在地 〒670-0946 姫路市北条永良町 186 番地ストーンヒルズ 101 号室
HP アドレス https://www.kamifuusenn.com/		交通機関 姫路駅 車8分 東姫路駅 車6分
E-Mail hasy.r24@gmail.com		TEL 079-228-5947 FAX 079-244-1226
代表者	竹内 浩樹	施設としての方針
設立	2020 年 8 月	学習が困難な子供たちの学習意欲を高め、支援する場所です。子供達が学習障害を乗り越えるのを助ける個別支援計画をたて、必要なツールの提供や指導を行っています。1 人 1 台パソコンやタブレットを使い学習を行い、コミュニケーションは VR ゴーグルを使いソーシャルスキルトレーニングを行っています。
受入校種	①・②・③・④	
運営日時	平日 13:00-20:15	
定員	10 名	
在籍者数	35 名 (令和3年10月末現在)	学習支援
スタッフ	8 名	屋外活動
費用	入会金 0 円	屋内活動
	授業料 1 割自己負担	教育相談
	その他 2,000 円	仲間づくり
		親の会

一般社団法人デモクラティックスクール まっくろくろすけ		所在地 神崎郡市川町坂戸 592
HP https://makkuro20.jp		交通機関 JR 播但線「甘地」駅 徒歩8分
E-Mail makkuro02@yahoo.co.jp		TEL 0790-26-1129 FAX 0790-26-1129
代表者	黒田 喜美	施設としての方針
設立	1997 年 4 月	・「人は自らの好奇心から学ぶとき、深く集中して学ぶ」という考えのもと、それぞれがやりたいことをします。大人が先に設けたスケジュールはなく、子ども達が予定や行事を提案して作っていきますが、主に自由参加です。 ・全体に関わることはミーティングを通して、話し合っていて決めていきます。校則作りはもちろん、学費額・大人の雇用・開校日数や時間などの学校運営も子どもたちが中心になって決めます。 ・異年齢が混じった中、基本的人権に基づいた民主的な自治を行うことで、実社会と同じ人間関係を体験していきます。 ・家庭ではできないことも取り組めるように心がけています。庭に大きなトランポリンなどの遊具、美術や音楽スペースがあります。 ・子どもがしたいこと、習いたいことは実現するよう、できる限りの工夫と応援をしています。
受入校種	①・②・③・④ 本人が希望し、在校生が受け入れ可能と判断した子	
運営日時	月曜～ 木曜 9:50～17:45	
定員	38 名	
在籍者数	生徒 28 人、不定期 10 人 (2021 年 11 月現在)	学習支援
スタッフ	6 名	屋外活動
費用	入会金 1 万円	屋内活動
	授業料 年 12 万～25 万円 (所得による)	教育相談
	その他 遠足など実費	仲間づくり
		親の会

デモクラティックスクール TOIRO		所在地 兵庫県豊岡市日高町日置38-1					
HP アドレス https://www.kns.hyogo.jp/toiro		交通機関 JR 山陰本線「江原駅」より徒歩3分					
E-Mail info@kns.hyogo.jp		TEL 0796-20-3541		FAX 無し			
代表者	前田敦司	施設としての方針					
設立	2020 年 6 月	“興味関心のある事柄”に“主体的に取り組む”経験が「人生の中で生涯続く学び」だと考え、子ども時代にそういった経験を積み重ねることが、将来社会に出て、自分の人生を生きていく上で重要だと考えます。それぞれの個性に向き合い、一般的という見かたや年齢で判断せず、子どもと関わる大人もそれぞれを尊重し合いながら、過ごせる場所であることを大切に考えます。					
受入校種	①・②・③・特						
運営日時	平日 8:30～15:30						
定員	20名						
在籍者数	14名 (令和3年10月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり	親の会
スタッフ	4名	○	○	○	○	◎	○
費用	入会金 10,000 円	それぞれがその時の興味ある事柄にトコトン向かい、調べ、行動し、経験を積み、探求し、時に同じ価値観の仲間と相談・コミュニケーションを取ることで、人と繋がりながら生きることを学んでほしいと考えます。					
	授業料 月 35,000 円						
	不定期利用 10回 25,000 円						

インターナショナルデモクラティックスクール まめの木		所在地 兵庫県丹波篠山市垂水 421-2				
HP アドレス https://ciao-sasayamaschool.ssl-lolipop.jp/sasayama-freeschool/		交通機関 JR 宝塚線・神姫バス				
E-Mail mamenokisasayama@gmail.com		TEL 090-8210-8317		FAX 079-550-5002		
代表者	西村 源	施設としての方針				
設立	2016 年 4 月	まめの木の活動は、子供たちが自分で考え、判断し、そして行動することを大切にしています。特に大人が企画した枠組みの中で活動をするのではなく、子供たちが自由に展開する遊びの中に最大の学びがあると考えています。				
受入校種	①・②・③					
運営日時	平日					
定員	30 名					
在籍者数	15 名 (令和3年 10 月末現在)	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり
スタッフ	5 名	○	◎	○	△	○
費用	入会金 10,000 円	まめの木は田園風景の広がる山の斜面の棚田にあり、子供たちが自由に活動できる敷地も 1000 坪以上あります。毎日木登りをしたり、生き物を捕まえたり、山登りや川遊びを楽しんでいます。まめの木の田んぼでは餅米の栽培を手伝い、畑ではみんなが料理に使うことのできる野菜の栽培を体験してもらえます。ほとんど山の中にあるような立地なので、敷地の中で一泊二日や二泊三日のキャンプをすることもあります。				
	授業料 月 45,000 円					
	その他 回数券制あり					

⑤ 国の主な通知とポイント

主な通知

ポイント

通知 H28. 12. 22

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律の公布について

不登校児童生徒の個々の状況に応じた

- ・ 学習活動への必要な支援
- ・ 学校における環境の整備
- ・ 休養の必要性を踏まえた学習活動

通知 H29. 2. 16

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律第二条第三号の就学が困難である状況を定める省令について

不登校児童生徒について規定

不登校児童生徒とは

「相当の期間学校を欠席する児童生徒であって、学校における集団の生活に関する心理的負担その他の事由のために就学が困難である状況として、何らかの心理的、情緒的、身体的若しくは社会的要因又は背景によって、児童生徒が出席しない又はすることができない状況（病気又は経済的理由による場合を除く）と認められるもの」

通知 H29. 3. 28

不登校児童生徒による学校以外の場での学習等に対する支援の充実について

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本方針の策定について（通知）H29. 4. 4

教育委員会の取組の明記

- ① 民間団体等との定期的協議
- ② 保護者への幅広い情報提供
- ③ 支援に関する担当部署の明確化

通知 R 元. 10. 25

不登校児童生徒への支援の在り方について

これまでの不登校施策に関する通知の整理とまとめ

指導要録上の出欠の取扱い

「学校への復帰を前提」→「社会的自立を目指すもの」

不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン
 発行 兵庫県教育委員会
 連絡先 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
 TEL (078) 341-7711（代表）

01教T1-014A4